



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 サトーホールディングス株式会社

コード番号 6287 URL <http://www.sato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長兼最高経営責任者 (氏名) 松山 一雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画統括 (氏名) 櫛田 晃裕

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 03-6665-0639

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	39,279	1.7	1,864	2.5	1,290	△20.1	697	0.5
23年3月期第2四半期	38,605	5.8	1,819	136.6	1,614	91.9	693	161.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △317百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △21百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	23.16	—
23年3月期第2四半期	23.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	64,110	34,006	52.9	1,126.70
23年3月期	66,134	34,929	52.7	1,156.88

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 33,925百万円 23年3月期 34,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
24年3月期	—	17.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	4.6	4,800	13.6	4,200	13.6	2,400	377.0	79.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	32,001,169 株	23年3月期	32,001,169 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	1,890,999 株	23年3月期	1,890,699 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	30,110,249 株	23年3月期2Q	30,110,947 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において、国内は、供給網の復旧が急速に進んだことにより生産活動が正常化に向かうなど、経済活動は徐々に回復の動きが出てまいりましたが、一方で期間の後半には急速に円高が進むなど、今後の景気については不透明感が出ております。

このような経営環境のもと、当社グループでは、生産性の向上及び製造コストの低減、各種経費節減への取り組みを実施する他、海外事業での売上拡大をはかるため、日本からの支援を強化してグローバル展開を加速するなど、事業拡大に向けた取り組みを強化しております。

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は39,279百万円（前年同四半期比101.7%）、営業利益1,864百万円（同102.5%）となりました。経常利益は1,290百万円（同79.9%）となり、為替評価による差損は572百万円でした。四半期純利益は697百万円（同100.5%）となりました。

<日本>

市場別事業部制により各事業部が顧客ニーズを捉えた積極的な提案を行ってまいりました。当第2四半期累計期間においては、震災の影響が残るなか、サプライ製品売上は前年水準を確保しました。今後、企業の生産活動の正常化とともに本格回復に向かう見込みです。メカトロ製品売上については成長市場の開拓や積極的な用途提案により、製造業を中心に電子プリンタの回復傾向が顕著となりました。また、自動認識の新しい技術提案を絡めた商談が活発化するなど、新規用途に対する提案により今後新たな市場開拓を見込んでおります。これらの取り組みにより、売上高29,985百万円（前年同四半期比102.1%）、営業利益1,697百万円（同106.6%）となりました。

<米州>

OEM商談が順調に拡大しており、大手小売業向けに値下げ管理システム商談や、食材の消費期限管理システム商談が進行中で今後の売上拡大を見込んでおります。また、アパレル向けラベル・タグ印字受託事業の売上増に向けた営業活動を強化しているほか、中南米市場の拡大に向け昨年のアルゼンチンに引き続き、ブラジルのEUROPEN DO BRASIL LTDA. 社を子会社化するなど拠点展開を強化しております。これら取り組みにより、売上高は3,000百万円（前年同四半期比94.7%〔為替影響を除く前年同四半期比105.6%〕）、営業利益66百万円（同91.7%）となりました。

<欧州>

ポーランドのラベル新工場が本格稼働し、ドイツやベネルクス地区へのサプライ製品が低コストで生産供給できる体制が整いました。これに伴いドイツの製造子会社は清算手続きに入るなど、収益基盤確立のために取り組んできた構造改革はこれで節目を迎え、当下期より欧州全体で黒字転換への道筋が見えてまいりました。売上面においては、欧州全域でマークダウン商談が活発化しているほか、代理店ネットワークの拡充とシステムディーラーとの協業を進め販路開拓の準備を行っております。これら取り組みにより、売上高3,043百万円（前年同四半期比99.2%〔為替影響を除く前年同四半期比100.5%〕）、営業損失121百万円（前年同四半期は営業損失104百万円）となりました。

<アジア・オセアニア>

アジア地域については、期前半の震災の影響でアジア日系企業からの受注が一時停滞し伸びが鈍化していたものが、後半に回復するなど、各国で製造業、大手流通業、公共プロジェクトなどの需要増があり業績を牽引しました。中国では人件費高騰による合理化需要を捉え、またメイドインチャイナ需要に対応するため製品組立工場を稼働させるなど成長市場の需要を取り込むことができました。今後、日本からの支援を一層強化してまいります。

オセアニア地域については乳製品製造や食肉加工業への売上が好調だったほか、ヘルスケア用途での大型商談が複数進行中です。これら取り組みにより、売上高は3,250百万円（前年同四半期比108.0%〔為替影響を除く前年同四半期比109.1%〕）、営業利益224百万円（同107.1%）となりました。

製品別の状況は以下のとおりであります。

- a. メカトロ製品売上高 15,013百万円（前年同四半期比103.9%）
- b. サプライ製品売上高 24,266百万円（前年同四半期比100.4%）

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、64,110百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,023百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金、たな卸資産の減少等によるものです。なお純資産は、株主資本で配当金の支払いを行ったこと、為替換算調整勘定が減少したことなどにより922百万円減少し、34,006百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、9,623百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,190百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,071百万円（前年同四半期比50.4%）となりました。

主なプラス要因は税金等調整前四半期純利益1,178百万円、減価償却費932百万円等であり、主なマイナス要因は仕入債務の減少額478百万円、未払金の減少額494百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は711百万円（前年同四半期比19.2%）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出308百万円、無形固定資産の取得による支出226百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,120百万円の減少（前年同四半期は1,195百万円の増加）となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出338百万円、配当金の支払額541百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績見通しにつきましては、日本における各事業部による大手顧客深耕や用途開拓に伴う商談が増加しており一段の売上増を見込んでいるほか、アジア・オセアニア地域における引き合いも引き続き活発なことが見込まれます。一方で、当第2四半期連結累計期間において急速に円高が進行したことによる当該為替評価の影響額を考慮し、経常利益の見直しを行いました。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績は以下の通り見込んでおります。

通期の連結業績予想

売上高	82,000百万円	(前回予想	82,000百万円)
営業利益	4,800百万円	(同	4,800百万円)
経常利益	4,200百万円	(同	4,600百万円)
当期純利益	2,400百万円	(同	2,400百万円)

なお、前提となる為替レートは以下のとおりです。

第3四半期以降の前提為替レートは、1米ドル77円、1ユーロ107円(前回想定は1米ドル84円、1ユーロ120円)。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,680	9,475
受取手形及び売掛金	17,253	17,140
有価証券	184	179
商品及び製品	6,331	5,978
仕掛品	125	117
原材料及び貯蔵品	1,609	1,483
その他	3,768	4,085
貸倒引当金	△113	△103
流動資産合計	39,841	38,358
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,672	7,667
その他（純額）	10,236	9,869
有形固定資産合計	17,908	17,537
無形固定資産		
のれん	454	398
その他	1,390	1,339
無形固定資産合計	1,845	1,738
投資その他の資産	6,538	6,477
固定資産合計	26,293	25,752
資産合計	66,134	64,110
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,751	4,203
短期借入金	5,573	5,427
未払金	12,229	11,504
未払法人税等	205	678
引当金	258	199
その他	3,230	3,460
流動負債合計	26,247	25,473
固定負債		
長期借入金	1,377	1,055
退職給付引当金	1,696	1,625
その他	1,884	1,949
固定負債合計	4,957	4,630
負債合計	31,204	30,103

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,331	6,331
資本剰余金	5,799	5,799
利益剰余金	27,837	27,992
自己株式	△3,458	△3,459
株主資本合計	36,508	36,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△1,674	△2,737
その他の包括利益累計額合計	△1,674	△2,738
新株予約権	86	72
少数株主持分	9	9
純資産合計	34,929	34,006
負債純資産合計	66,134	64,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	38,605	39,279
売上原価	22,325	22,709
売上総利益	16,279	16,570
販売費及び一般管理費	14,459	14,706
営業利益	1,819	1,864
営業外収益		
受取利息	14	22
受取配当金	0	0
受取賃貸料	44	53
その他	47	67
営業外収益合計	106	143
営業外費用		
支払利息	55	56
為替差損	180	572
その他	75	87
営業外費用合計	311	717
経常利益	1,614	1,290
特別利益		
固定資産売却益	11	0
新株予約権戻入益	—	13
その他	2	—
特別利益合計	13	14
特別損失		
事業再編損	100	116
固定資産除却損	20	—
固定資産売却損	0	0
事務所移転費用	72	—
投資有価証券評価損	—	4
その他	16	4
特別損失合計	209	125
税金等調整前四半期純利益	1,418	1,178
法人税、住民税及び事業税	700	600
法人税等調整額	23	△120
法人税等合計	724	480
少数株主損益調整前四半期純利益	694	698
少数株主利益	0	0
四半期純利益	693	697

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	694	698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
為替換算調整勘定	△714	△1,014
その他の包括利益合計	△716	△1,015
四半期包括利益	△21	△317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22	△317
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,418	1,178
減価償却費	1,016	932
のれん償却額	49	41
固定資産売却損益(△は益)	△10	0
固定資産除却損	20	—
事業再編損失	100	116
引当金の増減額(△は減少)	3	△47
貸倒引当金の増減額(△は減少)	28	9
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4	10
受取利息及び受取配当金	△14	△22
支払利息	55	56
為替差損益(△は益)	37	△169
売上債権の増減額(△は増加)	△125	△193
たな卸資産の増減額(△は増加)	△262	71
仕入債務の増減額(△は減少)	143	△478
未払金の増減額(△は減少)	404	△494
その他	20	48
小計	2,881	1,059
利息及び配当金の受取額	14	23
利息の支払額	△54	△57
事業再編による支出	△100	—
法人税等の支払額	△615	△373
法人税等の還付額	—	419
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,126	1,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△24
定期預金の払戻による収入	—	43
投資有価証券の取得による支出	—	△112
有形固定資産の取得による支出	△3,606	△308
有形固定資産の売却による収入	29	9
無形固定資産の取得による支出	△105	△226
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△59	△43
その他	37	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,704	△711
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△109	△124
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△166	△338
配当金の支払額	△511	△541
その他	△17	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,195	△1,120
現金及び現金同等物に係る換算差額	△331	△429
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△713	△1,190
現金及び現金同等物の期首残高	13,774	10,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,060	9,623

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	29,359	3,168	3,067	3,010	38,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,246	41	120	2,707	5,116
計	31,605	3,209	3,187	5,718	43,721
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,591	72	△104	209	1,768

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,768
セグメント間取引消去	△14
のれんの償却額	△43
棚卸資産の調整額	106
その他の調整額	3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,819

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	29,985	3,000	3,043	3,250	39,279
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,287	30	119	2,722	5,159
計	32,273	3,031	3,162	5,972	44,439
セグメント利益又は セグメント損失（△）	1,697	66	△121	224	1,866

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,866
セグメント間取引消去	7
のれんの償却額	△14
棚卸資産の調整額	5
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,864

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。